

1 1. 教育

	タイトル	意見等
1	小学バレーの体罰問題について	徳島県小学生バレーボール連盟の体罰問題に関して議員特権を使用し有耶無耶にされていると聞きます。厳正なる調査と再発防止策の公表をお願いします。
2	徳島バッテリーバレー教育プログラムについて	○後藤田正純徳島県知事は徳島県教育委員会と一体となつて、徳島バッテリーバレー教育プログラムの充実強化に向けて、徳島県内のすべての県立高等学校の普通科を文理科又は文理科学科へと学科改組をしなければならない。⇒文理科の学科改組によつて、英語、数学、物理、化学の授業の強化を行う。 ※山梨県立韮崎高等学校、山梨県立桂高等学校、京都府立福知山高等学校、大阪府立北野高等学校、大阪府立天王寺高等学校、大阪府立大手前高等学校、大阪府立高津高等学校など ○後藤田正純徳島県知事は徳島県教育委員会と一体となつて、徳島バッテリーバレー教育プログラムの充実強化に向けて、徳島県立鳴門高等学校、徳島県立阿波高等学校、徳島県立脇町高等学校に理数科の復活をしなければならない。 ○後藤田正純徳島県知事は徳島県教育委員会と一体となつて、徳島バッテリーバレー教育プログラムの一環として、県内の県立高校の高校生が日亜化学工業のリチウムイオン電池用正極材料の製造現場が見学ができるようにしなければならない。
3	鳴門・板野・名西高校の廃校	知事は高校の学区について発言されている。人口問題として学区を検討してはどうか。石井や板野は高校の設置に値する人口を欠いている。廃校にして徳島市内へ学区の変更。鳴門は、普通科志望者が徳島市に流れて、渦潮高校一校で充分である。徳島市内の普通科の高校は12クラスあったので教室は十分ある。徳島市内の中学生が市外へは出たくない。昭和40年前後のように徳島市から市外の高校に通うこともない。鳴門、板野、名西の三校を廃校にして経費削減を図ればよいのである。 地元の首長が言うのだからこの案に反対はない。鳴門線、板野―徳島のJRの利用促進も効果がある。徳島市周辺から一学年250人徳島市へ通学すれば750人の通学生で徳島駅は賑わうのである。地元の首長や鳴門市の県議も言っているの、これでうまくいく。3校で10億円くらい節約できるはずである。
4	学区制の見直しについて	○後藤田正純徳島県知事が学区制を廃止して、県立高校間の競争を促進させて、徳島県全体の学校教育の向上を行い、教育の力で徳島県を取り戻させなければならない。 ※ 具体的には、県立学校の普通科をすべて文理科又は文理学科へと学科の改組を行う。 ※ 具体的には、徳島県立鳴門高等学校、徳島県立阿波高等学校、徳島県立脇町高等学校に理数科の復活を行う。 ※ 具体的には、徳島県立徳島北高等学校を徳島県立徳島国際高等学校に校名変更を行う。 ⇒東京都立国際高等学校、神奈川県立横浜国際高等学校、兵庫県立国際高等学校など ⇒国際バカロレア認定校になる。 ※ 具体的には、徳島県立城南高等学校を「徳島県における東京都立日比谷高等学校」にする。
5	部活について	・突然ですが8月に行われる夏の高校野球、通称：甲子園大会への出場権を獲得した鳴門渦潮高校に教育委員会の方から出場の辞退を要請して欲しいのです ・理由は暑さ対策の一環とした大会の最初の3日間限定で一番暑い時間帯を休みとする「2部制」が導入されるからです ・中休みを取る分だけ、終了が夜遅くまでズレ込む恐れが、あるからです ・あくまでも高校の部活ですから夜遅い時間まで試合を行ってはいけません ・試合の終了が部活の終了では、ありませんからギリギリで常識的な時刻で終わってもダメです ・騒いだり、喜びを分かち合ったり、監督の話が長かったりでそういうのでも時間が過ぎていきます ・部活ですから「消灯」の時刻まで考えなくてはなりません ・2部制の日に組み込まれるか、どうかは抽選してみるまで確定しない事です ・組み合わせが決まってからだと辞退させるのが難しくなるから今の段階で辞退を求めます ・高校生が昼間に試合が出来なくなったならスポーツは諦めるのがスジだという事を教育委員会なら、ご理解頂けると思い投稿しました ・学校には税金が投入されていますから有権者の言う事は絶対で